

防災

～災害に強い大田原をめざして～

大田原市は過去に幾度となく災害に見舞われてきました。その経験を基に、防災関係機関が相互に緊密な連携を図りながら、市民に防災意識を高めてもらうために、去る8月27日に総合防災訓練を実施しました。



シェイクアウト訓練

参加者がその場で自分の身を守る安全行動です。これは2008年にアメリカ・カリフォルニア州で開始された「誰でも・どこでも・参加できる」世界中で行われている訓練方法です。



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

災害時には、ライフラインが寸断され、食料や日用品などの流通が途絶えることが想定されます。そのため、各家庭で最低3日分の備蓄を推奨しています。

◆備蓄品の例

- ・飲料水（1日1人3リットルを目安）
- ・食料（アルファ米、保存のきくパン、インスタント食品、缶詰、など）
- ・生活用品（洗面用具、救急用品、ナイフ、ティッシュ、衣類、生理用品、紙おむつなど）



・その他、非常時には携帯ラジオや、保険証、印鑑、通帳などの貴重品を持ち出せるように準備しておくことも必要です。



県庁から「おおるり」で移動した福田知事（右から2番目）ら

今回の総合防災訓練では、消防防災、医療福祉、建設・輸送、ライフラインなどの防災関係機関や、地元自治会の皆さまなど千四百人も参加者が、真剣かつ機敏な動きをしており、有事の際の備えとして大変強く感じました。住民の皆さまには防災についての理解と「自分の身は自分で守る」「自分達の地域は自分達で守る」という意識を高めていただくことも大切です。市としては、地域の安全安心が保たれるよう、防災行政の推進に一層努力していきます。

訓練を通して、津久井富雄市長へ



訓練想定

栃木県北東部に直下型地震が発生、本市で震度7を記録
土砂崩れや家屋倒壊被害のほか、道路・橋梁・通信・電
気・ガス・水道等のライフラインにも甚大な被害が発生



④



①



⑤



②



⑥



③

①劇物運搬車両事故現場から要救助者救出②災害による倒木撤去③災害対策本部設置④避難所
⑤孤立した橋の要救助者を救出⑥女性消防隊による操法訓練

●防災ハザードマップ

お住まいの地域における「地震」「洪水・氾濫」「土砂災害」の際に想定される被害の情報と、避難場所や避難方法、防災対策に関する情報などを記したものです。有事の際に安全かつ素早い避難行動につなげ、被害を最小限に抑えることを目的に配布・公開しています。ご確認ください。

●自主防災組織について

市や防災機関が行う災害時の救助・復旧活動が、速やかに行えない場合があります。その場合、災害に直面する住民自らが自主的に出火防止、初期消火、被災者の救出救護、避難等を行うことが被害の軽減や人命救助の上でとても重要です。そのため、市は自主防災組織結成を推進しています。未結成の自治会におかれましては、結成に向けた取り組みのご協力をお願いいたします。



家庭での防災会議はしてますか？



地震のときに家族が慌てず行動できるよう、日ごろから話し合い、情報を共有しておきましょう。



- いつ起こるかわからない地震に対して、時間帯などの想定や防災設備の場所などを話し合っておきましょう。

- 想定したケースごとに分担を決めるほか、高齢者や乳幼児などの家族構成によっても対策の方法が異なってくるため、以下のようなケースについても確認しましょう。



- 家の中でどこが一番安全か
- 避難場所、避難路はどこか
- 非常持ち出し袋はどこにおいてあるか



- 自身の氏名、連絡先や血液型など自分の情報を記載した避難カードを作成し、普段から携帯しましょう。

- 室内家具など揺れに倒れる危険があるものには突っ張り棒などで予防をしましょう。
- 震災直後は「公助」よりも「自助」が重要になってきます。防災意識が薄れてきつつある中、改めて対策を考えることで非常事態にも備えることができます。

出典、参考： 消防庁 防災マニュアル ー震災対策啓発資料ー



①消防団による水防訓練②避難訓練③応急手当・搬送訓練④訓練を見守る住民の皆さん⑤自主防災会及び消防団による救出救助訓練⑥救助訓練に参加する災害救助犬⑦消防団による放水訓練⑧自衛隊による倒壊建物からの救助訓練

この特集への問い合わせは危機管理課まで
東2階 TEL (23) 1115

ミサイルが発射されたときの対応について

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。しかし、緊急情報を受けてから着弾までのごくわずかな時間に適切な行動をとることによって、被害の軽減につながる可能性があります。

●「Jアラート」とは

◆Jアラートとは、「**全国瞬時警報システム**」を簡略にした呼び方です。

国から、ミサイル情報や緊急地震速報、津波情報など時間的余裕のない緊急情報を注意が必要な地域に送信し、登録制メールなどを自動的に起動させて、瞬時に伝達するシステムです。

●自動車の車内にいる場合

◆車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。車を止めて建物や地下に避難してください。

◆高速道路を通行しているときなど、**車から出ると危険な場合**には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして待機してください。

●近くにミサイルが落下した場合

◆ミサイルに有害物質等が搭載されている可能性もあるため、**屋外**にいる場合は、**口と鼻をハンカチなどで覆い**機密性の高い建物の中または風上に避難してください。**屋内**にいる場合は、換気扇を止め**室内を密閉**してください。

●持っている携帯電話やスマートフォンが**緊急速報メール（エリアメール）**を受信できない時

◆民間事業者が無料提供しているスマートフォン用アプリや、携帯電話用のメール配信サービスがあります。

また、市では、登録制メール「**よいちメール**」を全国瞬時警報システム（Jアラート）と連動させて配信しています。



←よいちメールの登録はこちらから

本市の防災行政無線はアナログ無線のためJアラートとは連動しておりません。この機会にぜひ登録ください。災害・危険時のほか、市のイベント情報も配信しています。

◆地域の児童・生徒には、学校から「**危険時はあんしん家や近くの店舗などへ避難しよう**」と指導されていますので、ご協力お願いします。



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

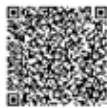
①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、**落ち着いて行動**してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

**近くの建物の中か
地下に避難。**

（注）できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

**物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。**

屋内に
いる場合

**窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。**



●**屋外にいる場合**：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
●**屋内にいる場合**：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。